

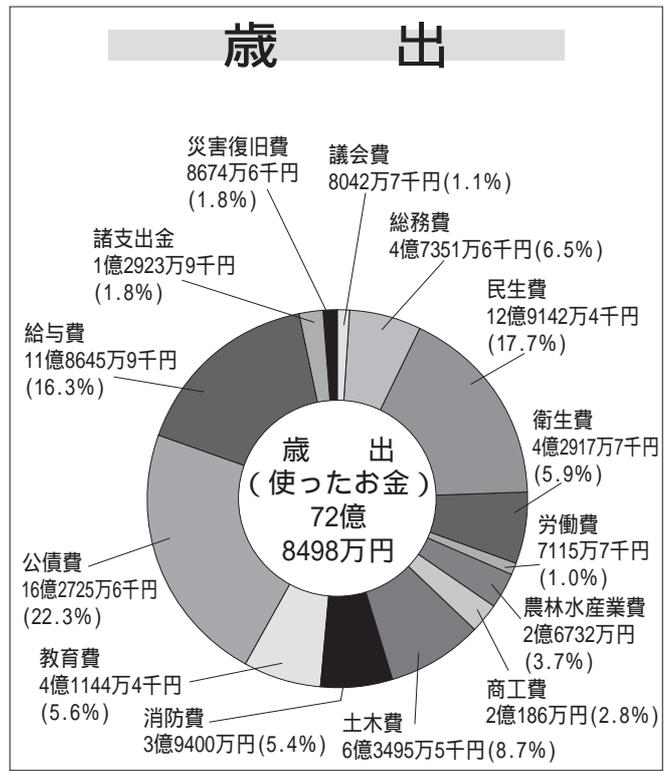
利償還金（返済額）は全額が後年度の交付税により措置されるため、いわば交付税の肩代わりのようなものです。

一方、町債の償還額（利子を含む）は、16億2725万6千円（うち9420万7千円は繰上償還）で、町債残高は平成22年度末の126億9858万4千円から、平成23年度末には10億3305万3千円減の116億6553万1千円。平成21年度末でピークを過ぎたものの償還額は依然多額で推移しており、新たな起債事業（借金をして行う事業）に対しては、公債費負



担適正化計画により、中長期的な視点から収支のバランスを十分に検証し、新たな借入を行うていく必要があります。

町民一人当たり換算すると、約118万円（前年度127万円）借金をしていることになり、将来世代に対する負担の軽減を今後も図るよう努めなければなりません。（平成24年9月末住民基本台帳人口9914人）



## 特別会計の状況

(単位:千円、%)

### 国民健康保険特別会計

平成23年度の1年間に、町に入ったお金(歳入)15億2049万8千円から使ったお金(歳出)15億1575万円を差引いた額は、474万8千円となり、平成24年度に繰り越しました。

### 公共下水道事業特別会計

平成23年度の1年間に、町に入ったお金(歳入)9億3469万1千円から使ったお金(歳出)9億3024万7千円を差引いた額は、444万円4千円で、平成23年度から平成24年度への繰越事業に必要な額9万2千円を差し引くと435万2千円となり、平成24年度に繰り越しました。

### 介護保険特別会計

平成23年度の1年間に、町に入ったお金(歳入)8億9530万3千円から使ったお金(歳出)8億8880万5千円を差引いた額は、649万8千円となり、平成24年度に繰り越しました。

### 簡易水道事業特別会計

平成23年度の1年間に、町に入ったお金(歳入)8640万2千円から使ったお金(歳出)8403万5千円を差引いた額は、236万7千円となり、平成24年度に繰り越しました。

### 後期高齢者医療特別会計

平成23年度の1年間に、町に入ったお金(歳入)1億3473万2千円から使ったお金(歳出)1億3003万1千円を差引いた額は、470万1千円となり、平成24年度に繰り越しました。

区 分	予算現額	歳 入		歳 出	
		決算額	収入率	決算額	執行率
国民健康保険特別会計	1,565,321	1,520,498	97.1	1,515,750	96.8
公共下水道事業特別会計	941,010	934,691	99.3	930,247	98.9
介護保険特別会計	914,722	895,303	97.9	888,805	97.2
簡易水道事業特別会計	89,087	86,402	97.0	84,035	94.3
後期高齢者医療特別会計	136,803	134,732	98.5	130,031	95.1

## 水道事業会計の状況

(単位:千円、%)

区 分	予算現額	決算額	執行率	
収益的収支	収入	216,401	216,689	100.1
	支出	216,401	205,851	95.1
資本的収支	収入	174,398	174,398	100.0
	支出	218,977	218,954	100.0

(予算現額及び決算額については、消費税込みの金額です。)

収益的収支については、収入が2億641万2千円(消費税込金額2億1668万9千円)、支出が1億9498万9千円(消費税込金額2億585万1千円)で、当期純利益が1142万3千円となりました。

資本的収支については、収入が1億7439万8千円、支出が2億1895万4千円となり、不足額4455万6千円は過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。